

やってみる

簡易リスクアセスメント

労働安全コンサルタント

片山 昌作

労働安全衛生コンサルタントは 労働安全衛生法 第81条に基づく業務で
企業・製造業・小売業・商店・飲食業・食品加工や農業団体及び給食施設・
特養老人ホーム・学校・その他で安全衛生の指導を行なっています。

片山安心コンサルタント合同会社

教習所 富山県南砺市八塚四番島4106-1 電話 0763-58-5258

本社 富山県南砺市八塚188 〒 939-1533

メール: s.katayama@ansin39.com

ホームページ <http://ansin39.com/>

簡易リスクアセスメントの流れ

項	手順	配分	備考
1	現場で気付きを、付箋に書き出す(1枚1件)	7 [分]	1人3件以上
2	付箋を並べ、内容がイメージできる様に説明する	1	後で見て分かる
3	同じ内容似た物を集め、A3用紙に並べて貼り、直す	2	A3コピー用紙1枚
4	「何が危険・有害か」思う事を書き出す	7	違っていても、書き出す事が大事
5	気付いた危険有害の起きる過程と、どの様な危害を受けるのか書き足す	8	危害を受ける過程と程度
6	(危険・有害からの危害) その対策を、発生の経過を踏まえて考える	10	10分過ぎたら、次の行動に進む
7	「すぐやるべき×」と「すぐできる□」、「順次やる△」の3種類に分ける	2	対策の優先順位
8	「いつ準備するか」を決める(準備して実行する)	2	

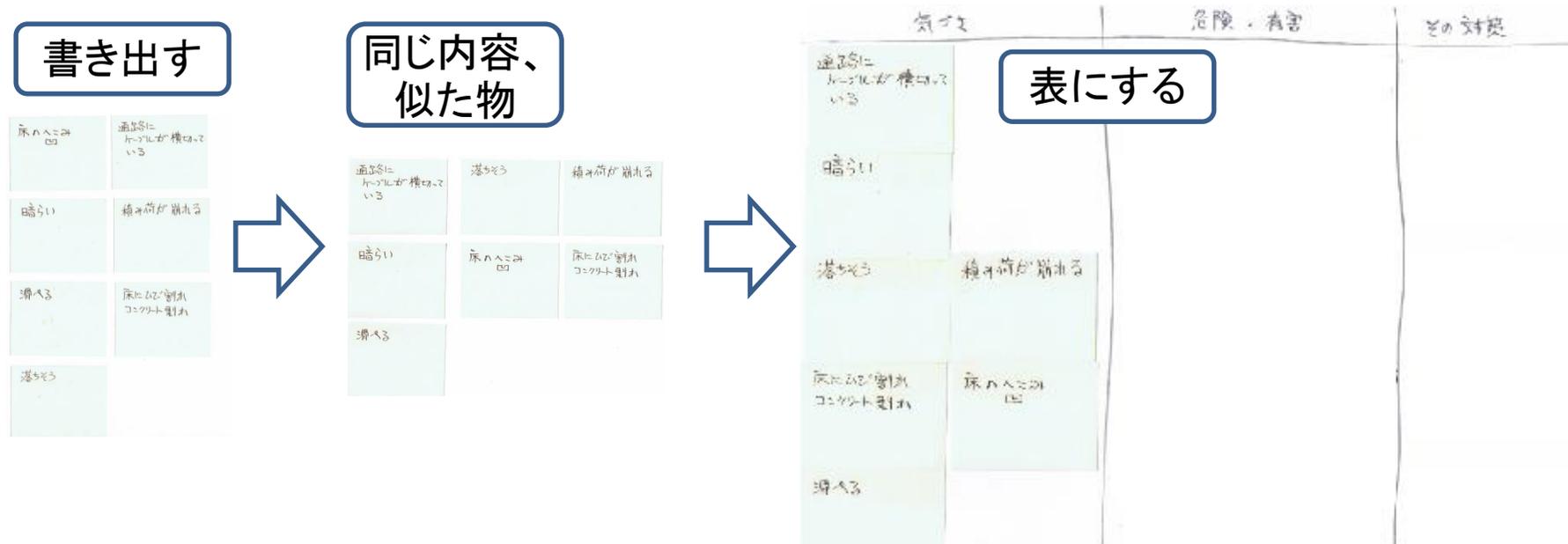
回を重ねて、危険有害を理解して、徐々に危ないところを減らします

危険源を見つける

1. 現場で気付いた事、ヒヤリハットを付箋に書き出す
3人～5人の1グループで、15件以上の「気付き」を出す
1人3件以上、などと設定し、
付箋(ポストイット)1枚に1件を、書き出す
2. 付箋を並べ、内容がイメージできる様に説明する
付箋に記した「気付き」の内容表現を読み合わせ、状況をイメージできるように説明する

集約して表にする

3. 同じ内容は集め、A3用紙に並べて貼り、直す
用紙に「気づき」「危険・有害」「その対策」項目を書き、
付箋を上から下に順次貼り付ける。
同じ内容似たものは右へ貼り足し、全く同じは上から重ね
て貼り、グループ分けする。



情報追加(危険有害性、危害の程度)する

4. 「何が危険・有害か」思う事を書き出す

5. 気付いた危険有害の起きる過程と、どの様な危害を受けるのか書き足す

危険・有害性
 を書き、受ける
 危害の程度を
 予測する

気づき	危険・有害	その対策
通路等にケーブルが横切っている	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者がケーブルに足を引っ掛けて転ぶ ケーブルを踏み足を取られて股袋を転倒する。 	
暗らい	<ul style="list-style-type: none"> 積み上げられたダンボール箱で窓を塞ぎ薄暗く足元見えず置荷にぶつかり転ぶ。 	
落ちそう	積み荷が崩れる	<ul style="list-style-type: none"> 2段積みフレコンの下袋にリフトの爪で爪が明き、落ちた土を清掃している時、上袋が落下して下敷きになる
床にひび割れ コンクリート割れ	床のへこみ 凹	<ul style="list-style-type: none"> 台車を押して荷運びに、床の凹みへ前輪がハマり、荷崩れして落ち、ハンドルが自身の腹に当たる。→腹の打撲 歩行者の右足のつま先が台車にぶつかる→足の打撲
滑べる		<ul style="list-style-type: none"> 床をブルーシートで養生し、その上も雨水で濡れた靴で歩いて滑り転ぶ。 →手と着いて手首と骨折又は捻挫する

危害の程度から緊急性を決める

6. 危害の対策を、発生の経過を踏まえて考える

理由から、☆やらずに済む事を続けていた、☆簡単な方法が有る、☆面倒だけど安全面からやるべき事が見える

7. 「すぐやるべき ×」と「すぐできる □」、「順次やる △」の3種類に分ける

気づき	危険・有害	その対策
通路にケーブルが横切っている	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者がケーブルに足を引、掛けて転ぶ ケーブルを踏み、足を取られて股間を転倒する。 	<ul style="list-style-type: none"> 通路にケーブルを通さない様コンセントを遊ぶ。 ケーブルにケーブルプロテクタを掛ける。
暗い	<ul style="list-style-type: none"> 積み上げられたダンボール箱で、空と塞ぎ、薄暗く足元見えず、置荷にぶつかり転ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 空から離し、積み上げ高さを2m以下にする。(高さを往復する) 通路を明示し、置荷をいれ
落ちそう	<ul style="list-style-type: none"> 積み荷が崩れる 2段積みフレコンの下袋にリフトの爪で爪が明き、落ちた土を清掃している時、上袋が落下して下敷きになる 	<ul style="list-style-type: none"> フレコンは積み直し。 2段積みは下段にコンパネを立て掛り、フレコンに穴明けを1枚挿す
床にひび割れ、コンクリート剥れ	<ul style="list-style-type: none"> 床の凹み 凹 台車を押して荷運びに、床の凹みへ前輪がハマり、荷崩れして落ち、ハンドルが自身の腹に当たる。→腹の打撲 歩行者の右足のつま先を台車にぶつける→足の打撲 	<ul style="list-style-type: none"> 床の凹みをコンクリートで直す 補修中は鋼板で養生する
滑る	<ul style="list-style-type: none"> 床をブルーシートで養生し、その上を雨水で濡れた靴で歩いて滑り転ぶ。 →手と着いた手首と骨節を捻挫する 	<ul style="list-style-type: none"> 内履きに履き替える 吸水マットとラエスで靴の水分を取る

準備して、対策実行する

8. 「いつ準備するか」を決め、対策を実行する 「緊急度」と「必要度」で、対策の緊急度を定める 用紙に、日時・ミーティング場所と参加者を記名する

気づき	危険・有害	その対策		
通路にケーブルが横切っている	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者がケーブルに足を引っ掛けて転ぶ ケーブルを踏み足を取らなくて股関節を転倒する。 	<ul style="list-style-type: none"> 通路にケーブルで通りぬき様コンセントを選ぶ → 頭上配線に近づかない ケーブルにケーブルプロテクタを掛ける。 	□	
暗らい	<ul style="list-style-type: none"> 積み上げられたダンボール箱で窓を塞ぎ薄暗く足元見えず置荷にぶつかり転ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 窓から離し、積み上げ高さを2m以下にする。(避難ラインと往復) 通路を明示し、置荷をしない 	△	
落ちそう	積み荷が崩れる	<ul style="list-style-type: none"> 2段積みフレコンの下袋にリフトの爪で爪が明き、落ちた土を清掃している時、上袋が落下して下敷きになる 	<ul style="list-style-type: none"> フレコンは積み直し 2段積みは下段にコンパネを立て掛り、フレコンに穴明けをしない様にする 	□
床にひび割れ コンクリート剥れ	床の凹み 凹	<ul style="list-style-type: none"> 台車を押して荷運びに、床の凹みへ前輪がハマり、荷崩れして落ち、ハンドルが自身の腹に当たる。→ 腹の打撲 歩行の右足のすねを台車にぶつける → 足の打撲 	<ul style="list-style-type: none"> 床の凹みをコンクリートで直す 補修中は銅板で養生する 	×
滑べる		<ul style="list-style-type: none"> 床をブルーシートで養生し、その上を雨水で濡れた靴で歩いて滑り転ぶ。 → 手を着いて手首を骨折又は捻挫する 	<ul style="list-style-type: none"> 内履きに履き替える 吸水マットとウエスで靴の水分を取る 	□